

関西学院大学新聞

2013年2月1日 第806号



発行 関西学院大学新聞編集部
〒662-0891 西宮市上ヶ原1番町1-155
関西学院大学新学生会館3F
電話：(0798) 51-1181
E-mail: kgpress2009@yahoo.co.jp

FIGHTERS二連覇 第67回甲子園ボウル

第67回甲子園ボウルが開催された。関学ファイターズは東日本代表校の法政大学トホークスと対戦した。激戦の末、ファイターズが20対17で勝利し、甲子園ボウル2連覇を達成した。主将の梶原誠人さんに取材した。



接戦の末、法政大を20-17で破る

昨年12月16日、少し強めて、法政大学アメフト部トホークスが東日本代表とマホークスが東日本代表として対戦した。13時から試合前のセレモニーが始まり、国旗掲揚国歌斉唱が行われた。その後、コイントスで先行、後攻が決定され、試合は13時28分にキックオフした。

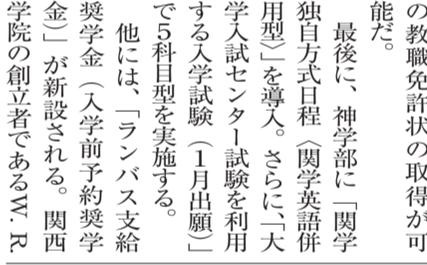
	関学	法政
第一Q	0	0
第二Q	3	0
第三Q	7	7
第四Q	10	10
合計	20	17

前半は関学がリードした。第一クォーターでは各チームともならみ合いが続いた。第二クォーターでは開始17分後、関学は27番、堀本大輔選手のキックでフィールドゴールに成功、3点をとり、先制スタートをきった。

後半は激動の展開となった。第三クォーターでは、法政が開始してまもなく88番、木戸崇斗選手がリターンタッチダウンに成功、6点を加え、さらにトライフオーポイントもキックで成功、1点追加した。しかし、その9分後法政もタッチダウンを決め、トライフオーポイントも決めて、さらに合計7点を加えた。さらに第四クォーターでは、開始8分後に法政がタッチダウンに成功、トライフオーポイントも決め、7点を追加。9分後にもフィールドゴールを決め、10-17となり、追い詰められた。その後、関学の反撃が始まる。法政のフィールドゴールの直後に18番畑卓志郎選手から木戸選手へのパスでタッチダウン、トライフオーポイントを経て、7点を加える。そして、試合終了2秒前にフィールドゴールを決め、3点を追加、20-17で終了した。



表彰式では、計2名が表彰された。本学からは、最優秀選手賞には43番望月麻樹選手、年間最優秀選手賞には18番畑卓志郎選手が選ばれた。また、法政大学からは敢闘賞に近藤潤選手が選ばれた。その後、本学側スタンドにて、応援団総部とスタンドの観客による校歌「空の翼、追憶歌「弦月」の合唱が行われ、両チームの健闘を讃えた。



今回の試合を振り返り、主将の梶原誠人選手は「予

扉の一言

「すぐに分かりましたと言う人間に分かったためしはない」
小早川 隆景

グローバルな人材の確保を 2013年度入試

今年も受験シーズンがやってきた。本学の2013年度一般入学試験は2月1日の全学日程からスタートする。昨年からいくつか変更された点を挙げる。

まず、全学日程の試験地に宮崎試験地が新設される。従来の試験地に加えると、全国で23試験地となる。小倉試験地では試験日が以前は全学日程だけであったが、全日程に拡大する。

次に、2013年4月より教育学部が再編される。幼児・初等教育学科、臨床教育学科の2学科を統合し、教育学科とし、幼児教育コース、初等教育コース、教育科学コースの1学科3コース制となる。教育科学コースでは中学校教員(地歴)と高等学校教員(地歴)と公民になるため、教職免許の取得が可能だ。

最後に、神学部にて「関学独自の関学英語併用型」を導入。さらに、「大入試センター試験」を利用する入学試験(1月出願)で5科目型を実施する。

他には、「ランパス支給奨学金(入学前予約奨学金)」が新設される。関西学院の創立者であるW.R.

- 2,3面 KGニュース
 - 4面 連載記事
 - 5面 K.G. studio
 - 6面 花粉症特集
- 2,3面 KGニュース
村尾氏講演会
学生新聞フォーラム
【論説】日進月歩

ランパスのような、「世界市民」を目指す学生を支援する制度だ。一般選抜入学試験前に申請を受け付けられた。2013年度入試の全国的な傾向としては、近年の不況の影響もあり国公立・理系志向が依然強いと予想される。

予備校の模試の志願状況によると、本学の2013年度入試では昨年より志願者が若干増加するとも見込まれる。本学は平成24年度「文部科学省グローバル人材育成推進事業(全学推進型)」に採択された。国際的な舞台で活躍する人材を育成するために、大学教育のグローバル化を推進する事業である。「世界市民」の育成という本学のミッションが受験生に認知され、国際志向の高い生徒の志願が増加することも期待したい。

合格者に国際的なプログラムへの参加を促すために、Facebookなどでも留学や国際ボランティアの情報を配信していく予定だ。「グローバルリーダー」・「グローバルエキスパート」・「グローバルシティズン」を育成する「実践型」世界市民「育成プログラム」へも積極的に参加して欲しい。

試験日・試験地

	全学日程		学部個別日程		関学独自の日程		学部個別日程	
	2/1(金)	2/2(土)	2/3(日)	2/4(月)	2/5(火)		2/6(水)	2/7(木)
神学部		3科目型			英語・数学型	関学英語併用型(センター併用)	3科目型	
文学部	3科目型		3科目型					3科目型
社会学部	3科目型		3科目型					3科目型
法学部	3科目型							3科目型
経済学部	3科目型			3科目型				3科目型
商学部	3科目型							3科目型
人間福祉学部	3科目型			英語・国語型				3科目型
国際学部	3科目型(英・英)	3科目型		3科目型				3科目型
教育学部	3科目型(理系)	3科目型						3科目型
総合政策学部	3科目型(理系)	3科目型						3科目型
理工学部	3科目型(理系)							3科目型

●理工学部 関学独自の日程<英語・数学型>は数理科学科・情報科学科・人間システム工学科で実施。
★国際学部は関学独自の日程<関学英語併用型>に加え、<関学英語併用型(英語重視型)>も実施。

衆議院選前の自民党の公約の中には、「憲法改正」の箇所があったことを覚えているだろうか。その中には「国防軍を保持することを明記」とあった。つまり、憲法改正時に自衛隊を国防軍に改称するかもしれないということだ。しかし、この文を見て国民どう思うだろうか。はっきり言って、自衛隊から国防軍に改称する意義があまり感じられない。名称を変更したところで、軍備や権限が増大、縮小されるわけでもない。また、国防「軍」という名称について、いくつかのアジアの国々は戦時中の記憶から、好ましく思っていない。反響を買ってまで改称するべきであるのか。また、公約の中には「日本の平和と地域の安定を守るため、集団的自衛権の行使を可能とし」とある。日本の平和と地域の安定を守るためには必ず必要になるのだろうか。検討の余地はあると思うが、集団的自衛権が本当に役に立つのかどうかが疑わしい。加えて、他国に軍隊を派遣するにしても、日本は軍隊と言えは自衛隊しか持ち合わせていない。日本の自衛隊をするための組織を、外国で戦争に参加させるために派遣させるとも言いにくい。防衛政策を執行していく上で、国を守っていくことが、今回の公約に二つの自民党の公約に二つは、実行すること。本党に国民のようになるのかどうかは疑問。政府には国民を守るような優れた政策を提案してくれるように求めたい。



三回生有終の演技

劇研究部 Theater Hi-Wind

昨年12月7日に旧学生会館2階ビックママ上で劇研究部Theater Hi-Windによる一回生デビュー兼三回生引退公演「CODE:Francheska」が開催された。会場には年齢を問わず観客が足を運んだ。ステージは観客席から約2メートルという、とても密接した環境であり、臨場感たっぷりの公演となった。

「CODE:Francheska」では決して銃声のなるようなものはない銃「Francheska」をもとにやり取りが発展していき、脚本は一回生が手掛けており、会場は次々と発展していくストーリーに終始興奮した。途中、火災報知機の誤作動があったが、役者たちの熱い演技に誰ひとり目を背けるものはいなかった。あつという間に約1時間30分の公演は終了した。観客からは衝撃的な大団円に思わず拍手が起こっていた。

主役を務めた相馬慶暢さん(人福・2)は「今回の公演はいつもと違い、キャラクターの中で色が違っていた。人々を興奮の渦に巻き込むストーリーからは、観客席にいるだけでも得るものは大きい。劇研究部は今後も



ほっとした表情の役者達

学生の新聞の役割を議論

UNN関西学生報道連名シンポジウム

昨年12月22日に大阪梅田キャンパスでUNN関西学生報道連盟主催のシンポジウム「いま、学生新聞の役割を問う」が開催された。大学内で学生新聞の果たすべき役割に争点を置き、関西の多くの大学が参加した。約3時間の長い公演は我々新聞総部に

とって勉強になる貴重な時間であった。まず、ゲストとして立命館大学教授の金山勉氏による「いま、学生新聞の役割を問う」を題目に学生との対談方式の授業が行われた。「学生新聞の役割として何が重要か」との教授の呼び掛けに対し学生達は「学生新聞とは学生と

学生目線の新聞へ

学生を繋ぐ新聞。しかし、一部の学生にしか読まれない。学生により一層読んでもらうことが重要」などと答え、様々な論争が続き、公演は大いに盛り上がった。最後に教授は「自分たちの立ち位置に合った報道をしてほしい。読者を説得していくことが大事」と話した。

次に、それぞれの団体のプレゼン報告がなされ、なかでも中央大が学新聞学会は動画による紹介をしてくれた。我が新聞総部の紹介では、元総部長が活動報告を行った。

「関西学生の意見を発表する場として、真実を報道したい」と語った。会場では多くの学生が新聞総部の紹介に耳を傾けてくれた。それぞれの参加団体が「宣伝活動をした甲斐があった」と感じる。学生の反応が返ってきてとても嬉しい。そして、患者の為に何かできたという安心感が身にしみる」と語った。

献血を身近に 冬の献血週間

西宮上ヶ原キャンパスで冬の献血週間を行った。今回の献血週間は両キャンパス合わせ、受付者数は384人、献血者数は258人であった。学生にとって献血週間はチラシなどでよく知られているが、実際に足を運んだ者は多いとは言えないだろう。

今回の献血週間について宗教総部献血実行委員会委員長の中村祥子さん(国・3)に話を聞いた。「最初はどうもなまじりかたでも構わない。献血するか否かという問題ではなく興味を持つてくれることが大事だ」と話す。冬は他の季節に比べて献血者数は減少するといふ。また、今年も例年より気温が低い傾向にあり顕著に表れていると話す。また、「関西学生の意見を発表する場として、真実を報道したい」と語った。会場では多くの学生が新聞総部の紹介に耳を傾けてくれた。それぞれの参加団体が「宣伝活動をした甲斐があった」と感じる。学生の反応が返ってきてとても嬉しい。そして、患者の為に何かできたという安心感が身にしみる」と語った。

社会へ敏感であれ

湯浅誠氏講演会

本学では、キャンパスに人権文化を根ざしていくことを目指し、人権問題講演会を毎学期開催している。その一つとして、12月20日に神戸三田キャンパス、西宮上ヶ原キャンパスに湯浅誠氏を招き、人権問題講演会「私たちの未来、社会の未来」が開催された。

湯浅氏はNPO法人「もやい」の理事を務めながら、ホームレス支援活動をしている。今回の講演会では、問題解決のためのカードを多く持っていてほしい」と呼びかけた。



熱弁を奮う湯浅氏

論説 日進月歩

『貸与奨学金の真のあり方』

日本の大学生数は年々増加し、2012年は約289万人となった(院生含む)。大学生数の増加と共に、奨学金を受給する学生も年々増えている。奨学金を受給する学生の割合は全学生の50.7%であり、ほぼ半数の学生が受給している。奨学金は給付型と貸与型があり、ほとんどの学生は貸与型を受給している。卒業後に返さなければならぬ。奨学金制度は学費を払うことが難しい家庭にとって非常にありがたい制度である。しかし、卒業後に経済的な問題で奨学金の返済に苦しむ学生が問題となっている。

そこで奨学金制度の問題点についていくつか述べたい。まず、経済不況のため非正規の職につき学生が多い。正規雇用の職を得られなかった学生の中には、月々の給与では返済することができない者もいる。学費が高騰し、返すべき奨学金の額が500万円を超えるケースが珍しくなく、返済すべきが難しく、返済すべき時期に間に合わないのだ。次に、延滞金制度が学生を苦しめていることだ。延滞金制度とは期日までに返済できないと延滞している日数に応じて延滞金が課される制度だ。これでは返済に困っている学生をさらに苦しめることになる。大卒者の就職率が60%台と低迷している中、卒業後すぐに学費を返済していくことは難しい学生も多い。返済額にさらに上乗せされる延滞金制度は、貧困層をさらに苦しめることとなり、格差を広げる結果となる。

そこで、現状を克服する解決策を述べていきたい。まず、長らく続く経済不況のために奨学金が返済できない学生が急増している点については、給付型奨学金制度を廃止し、学費を低く抑えることだ。日本の私立大学では約8割の大学が返済不要の給付型奨学金制度を採用している。この給付型奨学金を廃止し、その分学費に還元するべきだ。給付型奨学金制度は学業、またはスポーツにおいて優れた成績を残した学生が受けられる制度だ。たしかに結

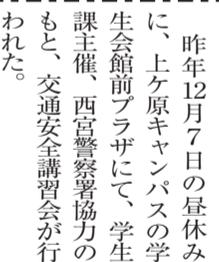
果を残した学生に対してのそれなりの対応はすべきだ。だが、金銭的な報酬を支払われる分、給付型奨学金制度を利用できない生徒はその分学費を払わなければならないのだ。一部の者が金銭的な恩恵を受けているはずがない。

延滞金制度が学生を苦しめている点については、奨学金を提供するいくつかの団体は卒業後であっても手続きをすれば、一定の猶予を与えているが、期限を延ばす必要だ。現在は、団体にそれぞれ猶予期限があり、必ずしも期限までに返済できるわけではないのだ。結論として、世間では奨学金の拡充に目を向けてい

るが、学費を下げるべきである。経済的に苦しい家庭であっても学費が軽減されれば、進学を諦めることはない上、負担も軽い。対処として上記で述べた給付型奨学金制度の廃止の他に、貸与奨学金の枠を狭めるべきだ。奨学金は貸与する方にも手数料などの負担があるからだ。これからの奨学金制度の意義は、返済で済ませるという形ではなく低額な学費ですら払うことが困難な学生にとっての最終手段となることである。奨学金が日本の格差社会をさらに押し進めることがあってはならない。なすべき課題は充実した奨学金ではなく、我々に重くのしかかる高額学費の軽減だ。

学生が原付で実践

交通安全講習会



真剣な表情で臨む

昨年12月7日の昼休み、上ヶ原キャンパスの学生会館前プラザにて、学生課主催、西宮警察署協力の交通安全講習会が行われた。

本講習会は、西宮市内で二輪車の事故が多発していることから、学生に正しい交通マナーを知らせ、安全への意識を高めてさせることを目的としている。なお講習会には、5人の学生が参加した。

警察代表者、学生部からの開会の挨拶ののち、車両点検から始まった。白バイ隊員が参加者に原付のオイル、車輪点検、ランプの点検確認などの正しい整備方法を実践する形で教えた。その後参加者がその場で原付の運転を実践した。また、走行指導では、カラーコーンでできたコースを実際に走り、車道での安全確認の方法などが指導された。講習会について、西宮署交通第一課長の矢野さんは、「西宮市内での交通事故は、

故は二輪車によるものが多い。特に夕方5時から6時は暗く周囲が見えにくくなり、事故が起こりやすくなる。年末は整備を強化しているが、気を付けてもらいたい」と話した。

学生課は本講習会のほかにも、色々なマナー向上の運動を行っている。一度は参加してみたいものだ。



教授の背中

梓川 一

人間福祉学部 准教授



「舟を編む」 三浦 しをん



今回は紹介するのは三浦しをん作の「舟を編む」だ。とある出版社の辞書編集...

辞書編集に関わることに勝つて得ている辞書でも必ずしも万能ではないのだ。

生きる言葉

「舟を編む」の主人公馬締光也は、辞書作りへの才能を見出され...

「舟を編む」の主人公馬締光也は、辞書作りへの才能を見出され...

「舟を編む」の主人公馬締光也は、辞書作りへの才能を見出され...

「舟を編む」の主人公馬締光也は、辞書作りへの才能を見出され...

「舟を編む」の主人公馬締光也は、辞書作りへの才能を見出され...

「舟を編む」の主人公馬締光也は、辞書作りへの才能を見出され...

「舟を編む」の主人公馬締光也は、辞書作りへの才能を見出され...

今現在、注目されつつある福祉分野で梓川先生は「当事者性」について主に研究している。

『当事者性』から学ぶ社会福祉のあり方

がん剤の薬を服用しなんとか一命を取り留めることができた。しかし、やはり病を患ったのは辛い。

あずさがわ はじめ

- 2000年 大阪市立大学修士号取得
2002年 大阪市立大学博士号取得
2012年 関西学院大学人間福祉学部准教授



ゆったりできる大銭湯

今回は趣を変え、心も体もリフレッシュできる温泉に目を向けていきたい。

Amamatsu Onsen information including address, phone number, and map.

都会に癒しの空間を

金の泉天然温泉 あま湯

あま湯 vol.36

森さんは「こは4カ所の食堂、宿泊もできるカプセルルームなどあらゆる設備が整っている。

関学周辺の素敵なお店

実行し、もし違っていたら、上司の言ったことだと責任転嫁してしまう現代人の多いこと多いこと。



K.G. studio

今回のK.G.studioでは、「タイムスリップ」と、「K.G.people」をお送りします。「タイムスリップ」では、税理士として活躍している森下良太さんに、「K.G.people」では、ヨット部の難波尚之さんにインタビューしました。

K.G.PEOPLE

#4. 体育会 ヨット部

難波 尚之さん (社・3)



ヨットとの出会いは大学入学してからだった。小中高とバレーを続けてきたが、先輩に声を掛けられ

今回紹介するのは、ヨット部の活動に打ち込む難波尚之さん(社・3)だ。アルゼンチンのブエノスアイレスで行われた西半球東洋選手権ジュニア部門で優勝しており、世界でも力を発揮している。

初めての海外での大会には戸惑いもあった。日本とは異なる運営方式の違いや時間のルーズさに、カルチャーショックを受けた。現地ではスペイン語・英語が使用されており、言語の壁も痛感したという。

今後の目標は、部の全日命でできない人間に、社会に出て何かを成し遂げるなん

「二十歳を超えてたら、大人だと思ってた」
大体誰もが思うことだろう。きつといつの時代だっけとそう思ってたに違いない。

タイムスリップ 第五回 森下良太さん (96年卒)

税理士として活躍する森下良太さんに大学生の時ほどのように過ごしたのか、聞いてみた。

1989年に関西学院大学に入学して、高校・大学もずっと関学です。大学ではカヌー部でしたが、小・中・高校と合計10年間カヌーをやっていました。

浅かったことに気づけました。また、今まで周りの方に対して本当に心からの感謝はできてなかったことに気が付かれました。

その後は就職して商社に行きました。3年で仕事を辞めて、MBAへ行こうと

「世の中の大人がみんなこんなわけじゃないよ」
保健所の人がなんか例外だらけだよ。



森下 良太 (もりした・りょうた)

1978年生まれ。西宮市出身。1996年関西学院大学商学部入学、2000年に卒業。2000年損害保険会社に入社。2009年関西学院大学経済学修士号取得。2007年にKPMG税理士法人に入社し、現在は娘2人と息子1人の3児の父。

文芸部 読み切り小説

「大人」

曾根崎十三

ヨットとの出会いは大学入学してからだった。小中高とバレーを続けてきたが、先輩に声を掛けられ

「君がこんな大人にならないようにすれば良いよ」
言いながら、無理だろうなと思う。物理的に。君にとっては猫の死体を車の行列から救出できた大人なんだろうか。

花粉症研究報告書

大学の年度もほぼすべてが終わり、旅行やアルバイトなど、やりたい事をやりながら春休みを満喫している人が多いであろう。今日この頃であるが、それと同じくして、花粉が飛び交う時期もまた始まるようになっている。症状が出る人はなんらかの準備が必要になってくるのではないかと。今回の特集は、歴史から対策方法まで、花粉に関する情報をまとめ、読者の役に立てていきたい。

歴史

花粉症はスギなどの花粉症の原因となる植物の花粉を吸いこむことで発症する。花粉症自体は前述した植物が地上に現れた時代から存在することになっている。スギの場々だと、大阪和歌山だと、約200万年前(新生代第四期)マンモスが栄えていた時代の地層からスギの化石が発掘されている。ところが、近代に入るまで目立って流行はしていない。

日本で発症者が多くなり、本格的になってきたのは、1960年代からだ。特に過去20年の間で深刻になってきている原因の所で説明しよう。

関西の花粉飛散時期

名前	まあまあ飛散	たいぶ飛散
春の場合		
スギ	2月中旬～4月中旬	2月下旬～4月上旬
ヒノキ	3月中旬～5月上旬	4月上旬～4月中旬
イネ	4月上旬～6月中旬	
秋の場合		
ブタクサ	9月中旬～下旬	
ヨモギ	9月中旬～10月上旬	9月中旬～下旬
イネ	8月中旬～10月上旬	

※花粉症環境保健マニュアル(環境省)より作成

ブタクサ

キク科の一年草(一年で枯れる)。北アメリカから入ってきた外来種で、要注意外来種に指定されている。全国で見られるが、あまり目立たない外見。高さは1mほどで、雄花を房状に連ならせ、茎の先端につける。開花時期は、7月から10月ごろ。同属にオオブタクサもある。

スギ

ヒノキ科の常緑針葉樹。日本固有の種であり、全国各地に生息する。葉の先端は針状に尖り、樹高は大体40mほどになる。開花時期は2月から4月ごろまで。花粉を飛ばす量が少ない品種も開発されているらしい。

ヒノキ

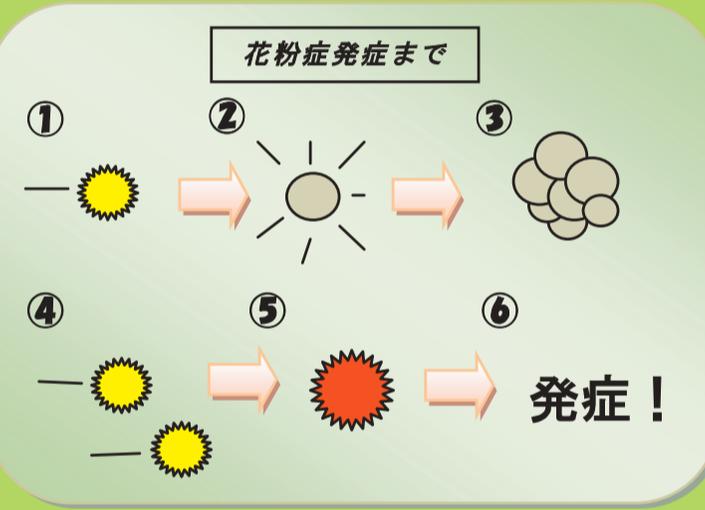
ヒノキ科の常緑針葉樹。日本と台湾に生息。日本では本州中部の南から九州まで生息する。日陰に生えやすい。葉は鱗片状で、柔らかい。樹高は30mほど。雄花は枝の先端につく。

原因

花粉症は簡潔的に言及すると、花粉が鼻の粘膜に接触することで発症するアレルギーである。

抗原というものと抗体というものを共存させる。抗原と抗体が結びつく。抗原と抗体が結びつく。抗原と抗体が結びつく。

① 花粉が鼻の粘膜に接触する。② 花粉が鼻の粘膜に接触する。③ 花粉が鼻の粘膜に接触する。④ 花粉が鼻の粘膜に接触する。⑤ 花粉が鼻の粘膜に接触する。⑥ 花粉が鼻の粘膜に接触する。



対策

日頃からどのような対策ができるのか。予防策を調べてみた。

対策の一つは、風邪予防の服は花粉が付着しやすいので避けるのがよい。

甘い茶で花粉症の症状を和らげることができるとあったが、厚生労働省の実験結果を見ていると、あまり保証はできない。漢方薬や、鼻に専用の機械や温かいおしほりをあてて、蒸気を吸い込む鼻スチームなどのほうが、効果が確認されているようだ。

ただし、今回調べた方法は個人差があるので、本当に効果が出るのかは残念ながら保証はできない。詳しいことは速やかに耳鼻科などの医師に相談することを強く勧める。本当にひどくなったときや、花粉症と思っていた症状がほかのところに原因があった場合は、市販の薬や、物理的な対策では効果は表れないかもしれない。

関学の施設も活用しよう

保健館

大学生協では、健康に関する品も取り揃えてある。上ヶ原キャンパスの生協では、花粉対策用のマスクが並べられていた。

大学生協

大学生協では、健康に関する品も取り揃えてある。上ヶ原キャンパスの生協では、花粉対策用のマスクが並べられていた。



編集後記

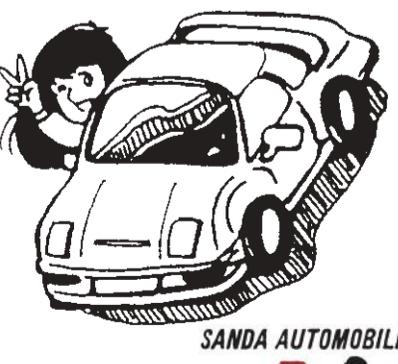
今回は花粉症の特集を担当したが、実を言うと、花粉症と思われる症状にかかったことは今までない。しかし、花粉症の説明のところに書いたように、時間をかけて発症するようだ。これからの日々の過ごし方によって悩まされる可能性もある。日ごろから規則正しい生活を心がけていきたい。

今回書いた対策だが、効果には個人差があり効果が見られない場合も考えられる。しかし、気軽に試せるものも多い。一度試してみよう。

関学・神戸三田キャンパスから
一番近い AUTOMOBILE SCHOOL

授業のあいだに
★ ★ ★ ★ ★
楽々教習!

大型科・普通科(MT・AT)・大型二輪科
普通二輪科(小型限定)・審査科(普通・自動二輪)



大学生協
サービスカウンターにて受け付け

お問い合わせは
お気軽にお電話で

TEL三田(079)
562-2995(代)

公安委員会指定技能試験免除
三田自動車学院